

第8次大和市総合計画（後期基本計画）成果を計る主な指標の検証

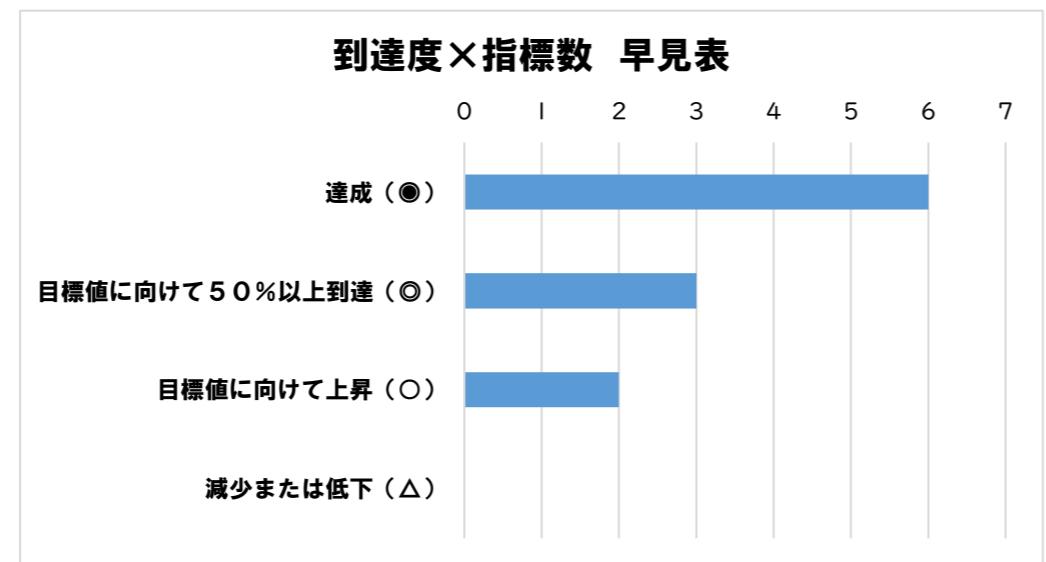
基本目標 5 快適な都市空間が整うまち

▼成果を計る主な指標・最終目標値H30年度の達成状況

目標値に達した指標数	/	指標数
6	/	11

目標値に向けて50%以上到達した指標数	/	指標数
9	/	11

目標値に向けて上昇した指標数	/	指標数
11	/	11



	指標の項目	当初値 H24	目標値 H30
75	土地区画整理事業などによる市街地整備の割合	58.1%	60.4%
76	プロムナードにおける1日あたりの通行者数	24,195人	26,350人
77	渋谷（南部地区）土地区画整理事業の進捗率	87.6%	—
78	大和市は、良好なまち並みが形成されていると思う市民の割合	44.7%	52.0%
79	地区計画、建築協定、地区街づくり協定などルール化された面積（累計）	121.8ha	128.3ha
80	都市計画道路の整備率	63.3%	64.7%
81	市民1人あたりの都市公園面積	2.71m ²	4.00m ²
82	大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う市民の割合	75.8%	82.0%
83	コミュニティバスの利用者数	332,426人	721,500人
84	自転車走行空間の総延長	14.0km	35.0km
85	適正駐輪率	98.7%	99.0%

～総括～

- ・11の成果を計る主な指標のうち、目標値に達したものは6、そして全ての指標が当初の値から上昇を示し、総じて良好な指標の達成状況であったと捉えています。
- ・「⁷⁵土地区画整理事業などによる市街地整備の割合」や「⁷⁷渋谷（南部地区）土地区画整理事業の進捗率」など、区画整理のハード面の計画的な実施や、市内の様々な都市空間整備が進んでおり、その結果として「⁷⁸大和市は、良好な街並みが形成されていると思う市民の割合」も目標を達成しました。このことから「快適な都市空間」にとどまらず、防災性の向上も含め、市が目指すまちの姿に前進しているものと捉えています。
- ・「⁸¹市民1人あたりの都市公園面積」は、これまででも大和ゆとりの森の拡大などに努めてきており数値は上昇しています。今年度も雨水調整池などの防災機能と公園機能を兼ね備えたやまと防災パークを新たに整備するなど、取り組みの充実を図っており、限りある市域の中でも、引き続き様々な機会を捉えて、公園の確保に努めています。
- ・また、「⁸³コミュニティバスの利用者数」は、適宜、ルートの見直しやバスマップの作成などを行ってきたことにより、市民の移動手段として定着し、これまで増加が続いているものと考えています。
- ・まちづくりやインフラ整備、交通施策の充実などは、市民生活の根幹にかかわる取り組みであり、その推進に向けては、社会状況の変化などを見据え、今後のあるべきまちの姿を的確にとらえながら進めていく必要があります。健康都市やまと総合計画では、引き続き、充実した都市基盤を備え、市民の生活を快適なものとするため、基本目標を「環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち」としており、まちの利便性と快適性の維持、充実を図ることで持続可能な都市となるよう努めています。

(総合計画審議会のコメント)

資料4